

■ 5-2. 一次エネルギー消費量等級のグループ分けの考え方

条件が同一となる住戸ごとにグループ分けを行う

①非住宅・住宅計算方法の場合

エネルギー消費性能計算WEBプログラム住宅版の入力項目による分類

②住宅仕様基準及び誘導仕様基準の場合

告示の仕様を満たしているかによる分類

■設計内容説明書の作成

- 1) 6グループ以上になる場合は「設計内容説明書 ②」以降を使用する。
グループ数が多い場合は、設計内容説明書②を複製し番号を変更し使用する。
 - 2) 住戸番号を記入する。
住戸数が多い場合は、別紙参照とするか、代表住戸の番号を記入してもよい
(代表住戸の番号を記入する場合の例： 101 他)
 - 3) 記入例を機器の種類や仕様を入力し、該当グループに●を記入する。
 - 4) 評価しない・設置しない場合は先頭の「□」は「□」のままとする。
 - 5) 自己評価等級欄に、申請等級を記入する。
 - 6) グループ別評価確認欄及び確認欄はUHECで記入するため、申請時は「□」のままとする。
- ※ 非住宅・住宅計算方法と仕様基準が混在する場合は、
非住宅・住宅計算方法及び仕様基準の設計内容説明書をそれぞれ作成する。

5-2.一次エネルギー消費量計算 グループ図【非住宅・住宅計算方法による分類】

11F	2900		1002 E	1101 F		1102 B	1103 G			
10F	2900	1001 A		1003 B	1004 B	1005 B	1006 B	1007 B	1008 B	
9F	2900	901 A	902 B	903 B	904 B	905 B	906 B	907 B	908 B	909 C
8F	2900	801 A	802 B	803 B	804 B	805 B	806 B	807 B	808 D	
7F	2900	701 A	702 B	703 B	704 B	705 B	706 B	707 B	708 B	709 C
6F	2950	601 A	602 B	603 B	604 B	605 B	606 B	607 B	608 B	609 C
5F	2950	501 A	502 B	503 B	504 B	505 B	506 B	507 B	508 B	509 C
4F	2950	401 A	402 B	403 B	404 B	405 B	406 B	407 B	408 B	409 C
3F	2950	301 A	302 B	303 B	304 B	305 B	306 B	307 B	308 B	309 C
2F	2950	201 A	202 B	203 B	204 B	205 B		206 B	207 B	208 C
1F	3000	101 A	102 B	駐輪場 (温度差係数：1.0)		エントランス等 (温度差係数：0.7)		店舗 (温度差係数：0.15)		
ピット (温度差係数：0.15)										

グループ	タイプ	戸数	住戸番号	分類条件
1	A,B, C,D	25	101,102,201,203,204,205,206, 208,301,309,401,409,501,509, 601,609,701,709,801,808,901, 1001,1007,1008,1102	その他居室ルームエアコン区分 (い)
2	B	53	その他	
3	B	1	306	その他居室ルームエアコン区分 (い)、床暖房配管一部断熱区外
4	C	1	909	その他居室ルームエアコン区分 (い)、通風
5	E	1	1002	その他居室マルチエアコン
6	F	1	1101	その他居室ルームエアコン区分 (い)、キッチン節湯なし、主たる居室調光
7	G	1	1103	その他居室ルームエアコン区分 (い)、太陽光発電設備

5. 温熱環境・エネルギー消費量に関すること(住戸評価用)

5-2 一次エネルギー消費量等級 適用する基準 ■ 非住宅・住宅計算方法

部屋番号を記入
別紙としてもよい

[illegible]

5-2.一次エネルギー消費量計算 グループ図【仕様基準による分類】

11F	2900		1002 E	1101 F		1102 B	1103 G			
10F	2900	1001 A		1003 B	1004 B	1005 B	1006 B	1007 B	1008 B	
9F	2900	901 A	902 B	903 B	904 B	905 B	906 B	907 B	908 B	909 C
8F	2900	801 A	802 B	803 B	804 B	805 B	806 B	807 B	808 D	
7F	2900	701 A	702 B	703 B	704 B	705 B	706 B	707 B	708 B	709 C
6F	2950	601 A	602 B	603 B	604 B	605 B	606 B	607 B	608 B	609 C
5F	2950	501 A	502 B	503 B	504 B	505 B	506 B	507 B	508 B	509 C
4F	2950	401 A	402 B	403 B	404 B	405 B	406 B	407 B	408 B	409 C
3F	2950	301 A	302 B	303 B	304 B	305 B	306 B	307 B	308 B	309 C
2F	2950	201 A	202 B	203 B	204 B	205 B		206 B	207 B	208 C
1F	3000	101 A	102 B	駐輪場 (温度差係数：1.0)		エントランス等 (温度差係数：0.7)		店舗 (温度差係数：0.15)		
ビット (温度差係数：0.15)										

グループ	タイプ	戸数	住戸番号	分類条件
1	A,B, C,D, E,F, G	30	101,102,201,203,204,205,206, 208,301,306,309,401,409,501, 509,601,609,701,709,801,808, 901,909,1001,1002,1007,1008, 1101,1102,1103	冷房能力を消費電力で除した数値が、 以下の算出式により求められる基準値以上 ー0.553×冷房能力(単位 キロワット) + 6.34
2	B	53	その他	冷房能力を消費電力で除した数値が、 以下の算出式により求められる基準値以上 ー0.504×冷房能力(単位 キロワット) + 5.88

設計内容説明書（兼 自己評価書）①

案件略称： 虎ノ門マンション

5. 温熱環境・I初年[※]-消費量に関すること(住戸評価用)

5-2 一次エネルギー消費量等級

適用する基準

■ 住宅仕様基準（等級4）

■ 誘導仕様基準（等級6）

部屋番号を記入
別紙としてもよい

性能表示事項 (自己評価等級)	確認項目	設計内容説明欄						特記欄	記載図書	確認欄	備考
		住戸番号 (別紙記入可)	別紙	別紙							
		戸数	30	53							
		グループ番号	1	2							
一次エネルギー消費量等級	地域区分 6	仕様を選択									
		暖房方式で「居室のみを暖房する」)						●	●		
		暖房機器の仕様等 温水暖房用パネルラジエーターであって、蓄熱回収型のガス熱源機を用い、かつ、配管に断熱被覆があるもの)									
		暖房方式()									
		暖房機器の仕様等)									
		暖房方式()									
		暖房機器の仕様等)									
		暖房方式()									
	地域区分を選択	冷房方式で「居室のみを冷房する」)						●			
		冷房機器の仕様等 ルームエアコンディショナーであって、日本産業規格S6615-1に規定する冷房能力を消費電力で除した数値が、以下の算出式により求められる基準値以上)							●		
		冷房方式()									
		冷房機器の仕様等)									
		冷房方式()									
		冷房機器の仕様等)									
		冷房方式()									
		冷房機器の仕様等)									
	換気	誘導仕様基準		熱交換換気設備		☐ 有					
						☒ 無		●	●		
		換気機器の仕様等 内径75ミリメートル以上のダクトを用いるダクト式第二種換気設備又はダクト式第三種換気設備)						●	●		
		換気機器の仕様等)									
		換気機器の仕様等)									
		換気機器の仕様等)									
		換気機器の仕様等)									
		換気機器の仕様等)									
	照明	住宅仕様基準		☐ 非居室に白熱灯または同等以下の性能の照明を採用していない							
		誘導仕様基準		☒ 全ての照明設備がLED又は同等以上				●	●		
	給湯	給湯熱源機の種類等（ガス給湯機であって、日本産業規格S2075に規定するモード熱効率が基準値以上）)						●	●		
		給湯熱源機の種類等()									
		給湯熱源機の種類等()									
		給湯熱源機の種類等()									
		給湯熱源機の種類等()									
		給湯熱源機の種類等()									
		給湯熱源機の種類等()									
		誘導仕様基準		所定の省エネ対策				●	●		
		☒ ヘッダー方式 分岐後配管径13A以下				●	●				
		☒ 浴室シャワーの節湯水栓の使用				●	●				
		☒ 高断熱浴槽の採用				●	●				
		グループ別		自己評価等級		等級6	等級4				
		グループ別		評価確認		☐	☐	☐	☐	☐	

5-2.一次エネルギー消費量計算 グループ図【非住宅・住宅計算方法・仕様基準混在】

11F	2900		1002 E	1101 F		1102 B	1103 G			
10F	2900	1001 A		1003 B	1004 B	1005 B	1006 B	1007 B	1008 B	
9F	2900	901 A	902 B	903 B	904 B	905 B	906 B	907 B	908 B	909 C
8F	2900	801 A	802 B	803 B	804 B	805 B	806 B	807 B	808 D	
7F	2900	701 A	702 B	703 B	704 B	705 B	706 B	707 B	708 B	709 C
6F	2950	601 A	602 B	603 B	604 B	605 B	606 B	607 B	608 B	609 C
5F	2950	501 A	502 B	503 B	504 B	505 B	506 B	507 B	508 B	509 C
4F	2950	401 A	402 B	403 B	404 B	405 B	406 B	407 B	408 B	409 C
3F	2950	301 A	302 B	303 B	304 B	305 B	306 B	307 B	308 B	309 C
2F	2950	201 A	202 B	203 B	204 B	205 B		206 B	207 B	208 C
1F	3000	101 A	102 B	駐輪場 (温度差係数：1.0)		エントランス等 (温度差係数：0.7)		店舗 (温度差係数：0.15)		
ピット (温度差係数：0.15)										

非住宅・住宅計算方法による住戸

グループ	タイプ	戸数	住戸番号	分類条件
1	AB, C, D	25	101,102,201,203,204,205,206,208,301,309,401,409,501,509,601,609,701,709,801,808,901,1001,1007,1008,1102	その他居室ルームエアコン区分 (い)
2	B	53	その他	
3	B	1	306	その他居室ルームエアコン区分 (い)、床暖房配管一部断熱区外
4	E	1	1002	その他居室マルチエアコン
5	F	1	1101	その他居室ルームエアコン区分 (い)、キッチン節湯なし、主たる居室調光
6	G	1	1103	その他居室ルームエアコン区分 (い)、太陽光発電設備

仕様基準による住戸

グループ	タイプ	戸数	住戸番号	分類条件
7	C	1	909	冷房能力を消費電力で除した数値が、以下の算出式により求められる基準値以上 $-0.553 \times \text{冷房能力 (単位 キロワット)} + 6.34$

5-2 一次エネルギー消費量等級 適用する基準 ■ 非住宅・住宅計算方法

性能表示事項 (自己評価等級)	確認項目	設計内容説明欄										特記欄	記載図書	確認欄	備考欄						
		住戸番号 (別紙記入可)	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙														
		戸数	25	53	1	1	1	1													
		グループ番号	1	2	3	4	5	6													
5-2 一次エネルギー消費量等級	基本等 冷暖房	外皮・基本情報	☐ 通風・蓄熱又は床下換気方式を利用する 基本情報等とは、主・その他・非居室の床面積、外皮面積・UA・ηA・ηAC											☐ 通風等の関連図書	☐	※ 複数の異なる暖房設備機器等を設置する場合 評価の優先順位 ① 電気蓄熱暖房器 ② 電気ヒーター床暖房 ③ 7700Pa ケー ④ ルーフィング付温水床暖房 ⑤ 温水床暖房 ⑥ FF暖房機 ⑦ バルブエアー ⑧ ルーフィング					
		暖房機器	☐ 全体暖房用機器を設置（ダクト式セントラルヒーティング空調）											■ 設備図 ■ 仕様書・カタログ等 ☐ 機器効率計算書 ☐ 床暖敷設率計算書 ■ 床暖放熱率計算書	☐		※ 複数のルームエアコンディショナーを設置する場合 評価の優先順位 ① 区分（は） ② 区分（ろ） ③ 区分（い）				
		■ 主居室に設置	[温水床暖房]	●	●	●	●	●	●												
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		熱源器	■ [給湯・温水暖房一体型]	●	●	●	●	●	●	●	●										
		配管通過空間	■ 全て断熱区画内である	●	●			●	●	●	●										
地域区分 6	冷房機器	☐ 全体冷房用機器を設置（ダクト式セントラルヒーティング空調）												※ 「その他居室」が複数ある場合 そのうちの1か所以上に空調設備をを設置する場合は、その他の居室は評価の対象となります							
		■ 主居室に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●	●	●	●	●	●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●																	
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●		●			●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
		■ その他に設置	[ルーフィング効率区分(は)又は省エネ対策無 可変型コアヒータ無]	●					●	●											
太陽光利用の場合 年間日射地域区分 A3	換気	換気設備方式	[ダクト式第二種又は第三種換気]	●	●	●	●	●	●	●		■ 設備図 ☐ 仕様書・カタログ等 ☐ 比消費電力計算書 ■ 有効換気量率計算書	☐	※ 複数の異なる全般換気設備を設置する場合の評価順位 ① ダクト式第一種換気 ② ダクト式第二種又は第三種換気 ③ 壁付け式第一種換気 ④ 壁付け式第二種又は第三種換気							
		ダクト式の省エネ対策	■ 省エネ手法を選択 [径の太いダクトの使用 0.5回換気]	●	●	●	●	●	●	●	●										
		1種換気の熱交換	☐ 熱交換型換気を採用する																		
		熱源機の種類	[ガス潜熱回収型給湯温水暖房機]	●	●	●	●	●	●	●	●										
		[]																			
		ふる機能	■ ふる給湯機追焚あり	●	●	●	●	●	●	●	●										
		配管方式	[]																		
		[]																			
		水栓の機能	台所 [2バルブ以外で節湯機能無]	●	●	●	●	●	●	●	●										
		[]																			
浴室シャワー	[2バルブ以外で手元止水機能無・小流量吐水機能有]	●	●	●	●	●	●	●	●												
[]																					
洗面所	[2バルブ以外で水優先吐水機能有]	●	●	●	●	●	●	●	●												
[]																					
高断熱浴槽	■ 高断熱浴槽を採用する	●	●	●	●	●	●	●	●												
蓄熱の利用の場合 暖房日射地域区分	照明	照明器具の設置	主居室 [設置有で全ての機器がLED]	●	●	●	●	●	●	●		■ 設備図 ☐ 仕様書・カタログ等 ☐ 多灯分散照明計算書	☐	・計算による比消費電力 比消費電力＝全般換気設備の消費電力(W)/全般換気設備の設計風量(m³/h) DC定風量制御換気設備は圧力損失時の消費電力を用いる。(OPa時の消費電力ではない)							
		[]																			
		■ 調光制御を使用する								●											
		☐ 多灯分散照明方式を使用する																			
		その他居室 [設置無]																			
		[]																			
		[]																			
		☐ 調光制御を使用する																			
		非居室 [設置有で全ての機器がLED]	●	●	●	●	●	●	●	●											
		[]																			
■ 人感センサーを使用する	●	●	●	●	●	●	●	●													
発電	太陽光発電設備	■ 太陽光発電設備を採用する								●		■ 設備図・計算書・仕様書等 ■ 成績証明書番号等	☐	※ 複数の異なる種類の給湯機を設置する場合の評価順位 ① ヲジ エネルギ ② 給湯・温水暖房一体型 ③ 給湯専用型							
		☐ ヲジ エネルギ設備																			
		一次エネルギー消費量(GJ)【設計値】																			
		一次エネルギー消費量(GJ)【省エネ基準値：等級4】																			
		一次エネルギー消費量(GJ)【低炭素基準値：等級5】																			
		一次エネルギー消費量(GJ)【ZEH基準値：等級6】																			
		グループ別 自己評価等級	等級6	等級6	等級6	等級6	等級6	等級6	等級6												
		グループ別 評価確認	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐				☐						

設計内容説明書（兼 自己評価書）①

案件略称： 虎ノ門マンション

5. 温熱環境・エネルギー消費量に関すること(住戸評価用)

5-2 一次エネルギー消費量等級 適用する基準 ☐ 住宅仕様基準（等級4） ☒ 誘導仕様基準（等級6）

性能表示事項 (自己評価等級)	確認項目	設計内容説明欄					住戸番号 (別紙記入可)	別紙						特記欄	記載図書	確認欄	備考
							戸数	1									
							グループ番号	7									
一次エネルギー消費量等級	地域区分 6	暖房方式（居室のみを暖房する）					）	●							■ 設備図 ■ 仕様書・カタログ等 ☐ 機器効率計算書	☐	
		暖房機器の仕様等 温水暖房用パネルラジエーターであって、潜熱回収型のガス熱源機用い、かつ、配管に断熱被覆があるもの					）										
暖房方式（					）												
暖房機器の仕様等					）												
暖房方式（					）												
暖房機器の仕様等					）												
暖房方式（					）												
暖房機器の仕様等					）												
冷房方式（居室のみを冷房する）					）	●											
冷房機器の仕様等 ルームエアコンディショナーであって、日本産業規格S2075-1に規定する冷房能力を消費電力で除した数値が、以下の算出式により定められる基準値以上					）												
冷房方式（					）												
冷房機器の仕様等					）												
冷房方式（					）												
冷房機器の仕様等					）												
冷房方式（					）												
冷房機器の仕様等					）												
冷房方式（					）												
冷房機器の仕様等					）												
換気	誘導仕様基準		熱交換換気設備		☐ 有 ☒ 無	）	●							■ 設備図 ■ 仕様書・カタログ等 ☐ 比消費電力計算書 ☐ 有効換気量率計算書	☐		
	換気機器の仕様等 内径75ミリメートル以上のダクトを用いるダクト式第二種換気設備又はダクト式第三種換気設備					）	●										
	換気機器の仕様等					）											
	換気機器の仕様等					）											
	換気機器の仕様等					）											
	換気機器の仕様等					）											
照明	住宅仕様基準		☐ 非居室に白熱灯または同等以下の性能の照明を採用していない			）								■ 設備図 ☐ 仕様書・カタログ等	☐		
	誘導仕様基準		☒ 全ての照明設備がLED又は同等以上			）	●										
給湯	給湯熱源機の種類等（ガス給湯機であって、日本産業規格S2075に規定するモード熱効率が基準値以上）					）	●							■ 設備図 ■ 仕様書・カタログ等 ☐ JIS効率計算書	☐		
	給湯熱源機の種類等（					）											
	給湯熱源機の種類等（					）											
	給湯熱源機の種類等（					）											
	給湯熱源機の種類等（					）											
	給湯熱源機の種類等（					）											
	給湯熱源機の種類等（					）											
誘導仕様基準		所定の省エネ対策			■ ヘッダー方式 分岐後配管径13A以下 ■ 浴室シャワーの節湯水栓の使用 ■ 高断熱浴槽の採用	）	●										
グループ別 自己評価等級							等級6							☐	左記等級を評価する		
グループ別 評価確認							☐	☐	☐	☐	☐						